



サラサドウダン(ツツジ科)ブナ林から上部の風衝地に多い、釣り鐘型の花が美しい。



サワグルミ1(クルミ科)ブナ林の沢沿いに多い、まっすぐに伸び、樹高が高く姿がよい木が多い。



サワグルミ2(クルミ科)実の写真、実にはチョウのような羽根がある。



サワシバ(カバノキ科)やや湿ったところに多い、クマシデに似るが、葉の基部が心形。



サンショウ(ミカン科)林の下に多い灌木、赤い実が香辛料として利用される、刺は対生。



サワフタギ(ハイノキ科)やや湿った所に多い、秋に瑠璃色の実がなるのでルリミノウシコロシともいう。



シロヤシオ(ツツジ科)峰や風衝地にある白い花が美しいツツジ、花は下向きに咲く。



スズタケ(イネ科)里山に見られ、群生することが多く密生する、稈鞘(竹の皮)が葉の付け根まである。



ズミ(バラ科)湿地に多くリンゴと似た花が咲く、秋にアズキ大の赤い実を付ける。